

公益社団法人日本地震工学会 第42回理事会議事録

A.日時：2019年10月10日（木） 16時00分～19時15分

B.場所：建築会館 308会議室

C.出席者：（会長）中埜良昭，（副会長）鳥井信吾，山田 哲，秋山充良

（担当理事）中村洋光，徳光亮一，久保智弘，永野正行，清田 隆，小檜山雅之，目黒
公郎，宮腰淳一，丸山喜久

（監事） 久田嘉章

欠席：（担当理事） 山本雅史，松岡太一，入江さやか，五十嵐晃 （監事）三輪 滋

オブザーバ出席：小松康典事務局長，戸田薫子事務局長

D.議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1) 第41回理事会議事録（案）確認（徳光理事） | 資料 42-01 |
| 2) 会務報告（中村理事） | 資料 42-02 |
| 3) 会計報告（徳光理事代理報告） | 資料 42-03 |
| 4) 広報部会からの報告（中埜会長代理報告） | 資料 42-04 |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事） | 資料 42-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（永野理事） | 資料 42-06 |
| 7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（清田理事） | 資料 42-07 |
| 8) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 42-08 |
| 9) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事） | 資料 42-09 |
| 10) 17WCEE 運営委員会からの報告（目黒理事） | (資料なし) |
| 11) 2019年度大会に関する報告（徳光理事代理報告） | 資料 42-11 |
| 12) メール審議結果の報告（1件）（中村理事） | 資料 42-12 |

議案

- | | |
|--|----------|
| 第1号 入退会者（徳光理事） | 資料 42-13 |
| 第2号 委員会委員の委嘱（中村理事） | 資料 42-14 |
| 第3号 共催・後援・協賛等（徳光理事） | 資料 42-15 |
| 第4号 スペシャルアドバイザー規程の改定（徳光理事） | 資料 42-16 |
| 第5号 論文集投稿規程、編集規程、審査規程の改定（小檜山理事） | 資料 42-17 |
| 第6号 「強震動評価のための深部地盤モデル化手法の最適化に関する研究委員会」
（～2021年3月末）研究成果報告会の取扱（秋山副会長） | 資料 42-18 |

懇談事項

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1) JAEE20周年記念事業（秋山副会長） | 資料 42-19 |
| 2) 論文賞選考スケジュールについて（秋山副会長） | 資料 42-20 |
| 3) 2020年度大会（山田副会長） | 資料 42-21 |
| 4) 地震学会長・地震工学会長懇談会の議題（中村理事） | 資料 42-22 |
| 5) ホームページのセキュリティーについて（久保理事） | 資料 42-05 |

E.議事録：

報告事項

- 1) 第 41 回理事会議事録（案）確認（徳光理事）
 - ・ 徳光理事より資料 42-01 に基づいて第 41 回理事会議事録の説明が行われた。
- 2) 会務報告（中村理事）
 - ・ 中村理事より資料 42-02 に基づいて会務報告の説明がなされた。
- 3) 会計報告（徳光理事代理報告）
 - ・ 徳光理事より資料 42-03 に基づいて会計報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 4) 広報部会からの報告（中埜会長代理報告）
 - ・ 中埜会長より資料 42-04 に基づいて広報部会の活動について説明がなされた。
- 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事）
 - ・ 久保理事より資料 42-05 に基づいて、JAEE News、JAEE Newsletter の発行状況、ウェブサイトのメンテナンス、メールニュース巻頭言の執筆スケジュール等について説明がなされた。
- 6) 会誌編集委員会からの報告（永野理事）
 - ・ 永野理事より資料 42-06 に基づいて、委員会の開催状況および会誌第 38 号、第 39 号の進捗状況について説明が行われた。また、会誌第 38 号として 17WCEE の準備状況、会誌第 39 号として歴代会長のインタビュー記事の例が紹介された。
- 7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（清田理事）
 - ・ 清田理事より資料 42-07 に基づいて地震災害対応委員会（地震被害調査関連学会連絡会）、国際委員会のメンバー選任方針について紹介された。
 - ・ 地震被害調査関連学会連絡会として地震工学会の委員会名簿に掲載する他学会の関係者の方は、委員長ではなく地震工学会員に所属する委員にすることとした。これは、学会によっては地震工学会の名簿に委員長名を掲載するにあたり、理事会等での承認手続きが必要となるからである。ただし、地震工学会理事会の内部資料（名簿）には、各学会の委員長名もあわせて記載することとした。
 - ・ 国際委員会では地震被害調査レポートを英文化する作業が発生することを踏まえ、地震災害対応委員会の田尻清太郎氏を新たに国際委員会の委員として加える案が説明された。また、今後は国際委員会より留学生会員に、JAEE Newsletter に英文での寄稿を依頼することが報告された。
- 8) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事）
 - ・ 小檜山理事より資料 42-08 に基づいて、論文集の発行状況、査読状況、今後の発刊予定について報告された。
- 9) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事）
 - ・ 宮腰理事より資料 42-09 に基づいて、今年度の事業企画予定について報告された。また、10 月 19～20 日に予定されている「ぼうさいこくたい 2019」において展示予定のパネル、パンフレット類が紹介された。
- 10) 17WCEE 運営委員会からの報告（目黒理事）
 - ・ 目黒理事より 17WCEE の準備状況について紹介された。投稿締切を延長したことに伴い、全体の作業が約 2 週間ずれ込んでいる以外は順調に準備が進んでいることが報告された。また、最終的な投稿数が約 4500 編で、当初見込みの約 1.5 倍となったことが紹介された。
- 11) 2019 年度大会に関する報告（徳光理事代理報告）
 - ・ 徳光理事より資料 42-11 に基づいて、日本地震学会・日本地震工学会 2019 年合同大会について報告された。
 - ・ 会場を東京以外とした場合、参加者数が減少する傾向が見られるので、今後の大会で地方開催

とする場合は収支バランスに注意すべきとの意見が出された。

- ・ 論文のデータを CD で配布するのではなく、WEB 上での配信や USB での配布とすることにより、会場でデータを閲覧しやすい仕組みを検討した方が良いとの意見が出された。
- ・ 投稿者を会員限定とすべきか、従来通り非会員も認めるかについて議論された。またポスターセッションの発表時間をより長くすることにより、特に若手発表者のアピールの場を確保した方が良いのではないかと意見が出された。

12) メール審議結果の報告 (1 件) (中村理事)

- ・ 中村理事より資料 42-12 に基づいて、論文集倫理規程の制定について審議の結果、承認されたことが報告された。

議案

第 1 号 入退会者 (徳光理事)

- ・ 徳光理事より資料 42-13 に基づいて、入退会者の報告がなされた。入会者として正会員 1 名、学生会員 3 名について異議なく承認された。

第 2 号 委員会委員の委嘱 (中村理事)

- ・ 中村理事より資料 42-14 に基づいて、地震被害調査関連学会連絡会および国際委員会で新規に委員会委員となる方の案が紹介された。
- ・ 地震被害調査関連学会連絡会の新規委員については、各学会より地震工学会の会員となっている方の中から候補者を選出する方針とし、次回理事会にてあらためて審議することとした。また国際委員会に新たに田尻清太郎氏が加わることについて承認された。

第 3 号 共催・後援・協賛等 (徳光理事)

- ・ 徳光理事より資料 42-15 に基づいて、共催 2 件、後援 2 件、協賛 1 件の名義使用依頼が報告された。
- ・ 日本学術会議からの「安全工学シンポジウム 2020」の共催依頼については、従来通り協賛にとどめることとした。また、その他の機関からの依頼については承認された。

第 4 号 スペシャルアドバイザー規程の改定 (徳光理事)

- ・ 徳光理事より資料 42-16 に基づいてスペシャルアドバイザー規程の改定案、募集メール文案の修正案および申請書の修正案についての説明がなされ、異議なく承認された。なお、改定日は本理事会の開催日 (10 月 10 日)、運用開始は 11 月 1 日とすることとした。

第 5 号 論文集投稿規程、編集規程、審査規程の改定 (小檜山理事)

- ・ 小檜山理事より資料 42-17 に基づいて、論文集投稿規程、審査規程、編集規程の改定案について報告された。
- ・ 論文集投稿規程の「10.掲載料等」における表の下に記載されている注釈のうち、「共著の場合は、第一著者が会員であること」については、論文集特集号の投稿資格に非会員が含まれることを踏まえ、削除することとした。
- ・ 前回理事会で案を提示した論文集倫理規程の制定および上記の修正を行った投稿規程、審査規程、編集規程の改定が承認された。上記規程の制定、改定の年月日は本理事会の開催日 (10 月 10 日) となる。また上記規程の運用開始は、改定直後に投稿された場合の混乱を回避するため、11 月 1 日とした。
- ・ 上記規程の制定、改定および運用開始の情報については、IC 委員会より WEB のトピックスに掲載していただくとともに、11 月のメールニュースにて会員に配信していただくこととした。
- ・ 投稿資格および論文賞の授賞対象者については、(仮に会員に限定しても、) 理事会での議論を踏まえて決定されたのであれば、過去の公益法人化における決定事項に関係なく問題ないこ

とを認識共有した。

- ・ 大会の投稿資格に非会員も含めてしまうことは、会員となるメリットにも影響するのではないかと指摘があった。また、過去に大会への投稿を規定した書類が存在しないか事務局で確認していただくとともに、来年度以降の大会のための投稿規程を制定したく、山田副会長に検討していただくこととした。

第6号 「強震動評価のための深部地盤モデル化手法の最適化に関する研究委員会」(～2021年3月末) 研究成果報告会の取扱(秋山副会長)

- ・ 秋山副会長より資料42-18に基づいて、上記研究委員会の最終的な研究成果の公表として、第6回 ESG 国際シンポジウムの特別セッションの開催をもって成果報告会としたいことが説明され、以下の事項を条件に承認された。
 - シンポジウムの資料を研究委員会の最終報告書の体裁にすること
 - 研究成果を冊子や論文集としてまとめ、地震工学会が販売できるようにすることを検討すること。

懇談事項

1) JAEE20周年記念事業(秋山副会長)

- ・ 秋山副会長より資料42-19に基づいて、JAEE10周年記念事業で実施された事業内容およびJAEE20周年記念事業の案について説明があった。
- ・ 20周年記念事業の実施体制として、「記念式典」は秋山副会長、宮腰理事、丸山理事が中心となること、「記念誌」は秋山副会長、中村理事、徳光理事が中心となることが確認された。
- ・ 記念式典の開催時期について議論され、5月の社員総会において、合わせて開催することを有力候補として検討することとした。
- ・ 東日本10周年記念講演については、記念式典の中で実施する案の他に、他学会との共催で別途実施する案も出された。

2) 論文賞選考スケジュールについて(秋山副会長)

- ・ 秋山副会長より資料42-20に基づいて、今年度の論文賞選考に関するスケジュールについて説明された。

3) 2020年度大会(山田副会長)

- ・ 山田副会長より資料42-21に基づいて、来年度の大会開催にあたっての検討状況について説明された。
- ・ 学生の発表の機会を確保する観点から、来年度も大会を開催することとした。
- ・ 開催場所は東京を予定しており、会場費を踏まえ、東大生研で開催する案が有力であることが説明された。また、開催時期は11月～12月上旬の1～2日間を予定することとした。
- ・ 若手技術者にインセンティブを与えられるプログラムとする必要があることが指摘された。
- ・ 大会実行委員会の整備を進めることとした。

4) 地震学会長・地震工学会長懇談会の議題(中村理事)

- ・ 中村理事より資料42-22に基づいて、10月28日に予定している地震学会長・地震工学会長懇談会の議題の案について紹介された。
- ・ 懇談会の議論として、今後も定期的に大会の合同開催を提案する予定であることが報告された。また〇〇地震の〇〇周年事業に関するアイデアを持ってるか、地震学会に確認すると良いとの意見が出された。

5) ホームページのセキュリティーについて(久保理事)

- ・ 久保理事より資料42-05に基づいて、IPA(情報処理推進機構)より会員専用ページのセキュ

リティーに問題があると指摘を受けたことについて、以下のとおり説明された。

- ▶ 現在のサポート切れのデータベース検索ソフトをバージョンアップさせた場合、会員専用ページのシステムに影響を与える可能性があり、検証作業が必要となる。
- ▶ 検証において万一問題が確認された場合は、会員専用ページのシステムを更新する必要がある。
- ▶ 一方、検証作業を実施せずにシステムの更新に踏み切る考え方もある。
- ・ 今後の対応については、業者に会員専用ページのシステムの更新費用について見積もりを依頼し、金額を踏まえた上で判断することとした。

次回予定：第43回理事会 令和元年12月2日（月）16時～19時

（第8回日本地震学会・日本地震工学会長懇談会 10月29日（火）13時-15時）

（正副会長会議 11月25日（月）16時-19時）

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和元年 10月 25日

議長 中 埜 良 昭

監事 久 田 嘉 章

監事 三 輪 滋